

第5回 江府町学校運営協議会 議事録

■期 日:令和5年2月14日(火)

■時 間:19:00~21:00

■場 所:日野川校舎 多目的ホール

<会議出席者>

【委員】宮本会長、井上裕吉副会長、小椋委員、井上廉女委員、船越委員、藤原委員、高津委員、遠藤委員、篠田委員、加藤千恵子委員、加藤健一委員、景山委員

【事務局】谷田課長、森田副校長、山本教頭、竹田 CSD

1 開会

会長挨拶

2 報告

・12/17実施 令和4年度西部地区コミュニティ・スクールを語る会について(宮本会長)

参加者:宮本会長、小椋委員、藤原委員

・2/10実施 CHA³プログラムについて(景山校長)

3 協議

・奥大山江府学園の学校評価について

○奥大山江府学園の最終自己評価 報告(景山校長)

自ら考え学ぼうとする子【自立】について

委 員	デジタル教科書というのはどういうものか。
景山校長	教材文を読み上げる音声データや、挿絵、資料画像などのデータが全て入って一体化しており、電子黒板などの画面上で使用できる教科書である。
委 員	ICTを活用して意見を述べる場合、自分の考えと文字で表現した時の言葉が本当にちゃんと合致しているか気になる。人間は言葉を使って考えるので、まずは言葉をしっかりと教える必要があると考える。 また、学び合う、というところにはまだ至っていないように思える。
景山校長	言葉、文字というところに関して、SNSの時代になっているので特に重要だと思っている。文字の便利さはあるが、実際に会って話さなければしっかりと意図が伝わらないこともあるので、その点も含めて子ども達に指導している。 学び合いに関して、自分の意見を表現することばかりを考えていたが、案外他の人の意見を知る機会が増え、学び合いの場としても活用でき始めているように感じている。
山本教頭	別の子の意見を知る機会としては増えている。今まで発表できていなかった子は表現しやすくなっていると思う。
森田副校長	伝える、というところまでは出来ているが、その意見に対する反応、深まり、となるとまだまだだと思っているので、学び合う、というところまでは達していないかもしれない。
景山校長	確かに、出た意見に対する深まりはもう少しではある。しかし、まずは自分の意見を伝えるというところは出来ている。例えば自分の回答をすぐに皆と共有できる。多くの情報量を扱えることで、通常の授業では知る事が出来なかったことや、気付けなかった意見まで到達できることは魅力である。それがわかるようになったのも、教員が積極的に活用するようになったおかげである。
委 員	ICTを積極活用することのデメリットはないのか。 毎週水曜にタブレットを持ち帰っているようだが、アクセス制限などはしてあるか。
景山校長	今の時点で認識しているデメリットはないが、この先想定外の問題が起こる可能性があるかもしれないので、出来る限りリスクマネジメントしていく。 タブレットにはセキュリティがかけられているので、基本的には有害情報にはアクセス出来ない。
委 員	「自立」の項目に「児童生徒のスキルの向上」とあるが、次年度以降はスキルの向上を目的とするのではなく、スキルをベースにして主体的に学ぶという心の方を育てる目標を期待する。
委 員	家庭学習習慣の問題は、今だけではなくずっと昔からある。今まで通りのやり方では評価が上がる

	ことはないと思われるので、学校だけでなく家庭と連携するなどの別の方策を新たに考えていくべきではないかと思う。
景山校長	働きかけの問題もあるかもしれない。家庭との連携についても考えたい。
委員	グラフを作って各学年に貼るなど、経過を可視化するなどの工夫をしてはどうか。
委員	家庭学習強化期間中、(何分勉強したかを記入するようになっていたので)子ども達は勉強の『時間』ばかりを気にして、中身が伴っていないこともあると思う。やり方を変えてみるのも良いのでは。
宮本会長	二つの項目について、自己評価の通りとする。

他者を敬い、共に歩もうとする子【敬愛】について

委員	6年生が抜けたブナの森校舎の様子についてはどうか。
山本教頭	5年生は自分達が最上学年として頑張っているが、やはり6年生と同じことを求めるのは酷である為、その点は気を付けないといけない。しかし、今まで4年生以上で行っていた委員会活動などに3年生が加わることで、3年生も成長するなどの姿が見られている。
宮本会長	体育祭などを見て、敬愛については本当に素晴らしく出来ていると思った。参観日では、生徒と教員がまるで友達の様に見える姿が見られ、驚いた。この関係で授業がより良いものになるのであれば、良いのかもしれないと考える。
森田副校長	関係は決して対等ではいけないと思う。礼儀を持って、適度な距離感になるよう指導していく。
委員	校舎分離型のメリットをしっかりと活かして欲しいと思う。
宮本会長	二つの項目について、自己評価の通りとする。

挑戦する気持ちを持ち、心と体を鍛える子【剛健】について

委員	部活動については、また様変わりするようなので気を付けて子どもを見て欲しいと思う。
景山校長	様変わりについて、来年度より中学校体育連盟主催の大会に、クラブチームでの参加が可能になる。やりたい事が出来るという良い面もあるが、部活動とクラブチームの兼ね合いをどうするのかという面は、まだこれから考えていかなければならないと思っている。
委員	日野川校舎には遊具がない為、日々の体を動かす機会を持ちにくいと思っている。その点を改善していてもらいたい。
森田副校長	休憩時間に町のグラウンドや体育館を利用してよいことになっている。今年度に入って、数名が遊ぶ姿が見られるが、少ないと思う。
宮本会長	二つの項目について、自己評価の通りとする。

より良いものを求め、豊かに想を広げる子【創造】について

委員	開校記念壁画はどういうところから話が来たのか。
景山校長	最初の話は2年前に遡る。チロル観光さんから、壁画を描かないかとお声掛けいただき、チロル観光さんと関係のある朝倉さんと行うことになった。せっかくなので開校記念として、今年度行った。作品の図柄には子ども達のアイデアがそのまま形になっている物もあり、とても良いものが出来たと思う。
委員	特に記載はなかったが、西ノ島町とのスキー交流が今年度出来て良かったと思う。来年度以降もぜひ続けて欲しい。
景山校長	交流というのが学園の一つのキーワードだと思っている。子ども達が交流することを本当に楽しみにしており、様々な交流の経験を通して、成長もしていくと思う。
森田副校長	西ノ島との交流に限らず、他学年との交流でも、全力で楽しみ、もてなそうという姿が見られる。とても素晴らしいと思う。
山本教頭	より良い交流になるよう、子ども達が努力する姿がある。ありがたく、ぜひ続けたいと思っている。
宮本会長	二つの項目について、自己評価の通りとする。

アンケート・その他について

委 員	それぞれの校舎でライフスタイルが違うので、アンケートの集計は校舎別にした方が良いと思う。日野川校舎に遊具が無いことについて、例えば町体育館下のピロティを使用するなど検討してはどうか。
景山校長	アンケート集計について、発達段階が1年生と9年生ではかなり違うので、確かに校舎で別の方が良い所もあるかもしれないと思う。来年度以降検討する。

4 その他

- ・第6回学校運営協議会 学校経営方針の承認について、3月中旬を予定
- ・卒業式、巣立ち式についての案内

5 閉会